

広報

のほべ

主な内容

- 第3回定例市議会 深いきずなで手を
むすぶ姉妹都市白石市…………… 2 P
- シリーズ 水道と私たちの暮らし ①
…………… 3 P
- 国と北海道の主な事業…………… 4・5 P
- 郷土史探訪 ⑧富浦Ⅱ…………… 6 P
- 第10回登別市社会福祉大会…………… 7 P

● No.380 ● 昭和58年10月1日発行 ● 発行/北海道登別市 ● 編集/総務部公聴広報課 ● 印刷/日光印刷



優しい笑顔、心暖まるお言葉

常陸宮妃殿下来登

第16回赤十字北海道大会にご臨席のため、常陸宮妃殿下が、去る9月6日
来登されました。

7日の午前、妃殿下は、市内中登別町にある特別養護老人ホーム「緑風園」
を慰問されました。

妃殿下は、各病室をまわられ、お年寄り1人ひとりに「お体の具合はいか
がですか」など優しい笑顔とお声をかけられていました。

午後からは、日赤名誉副総裁として市民会館で行われた第16回赤十字北海
道大会にご臨席されました。席上日赤の活動に功績のあったかたがたに有功
章などを授与され、引き続き、「赤十字に参加する人の輪がさらに広がるこ
とを希望します」と、お言葉を述べられました。式典後、「熊舞い、などの
郷土芸能を熱心に御覧になり大きな拍手を送られていました。

常陸宮妃殿下もご臨席された赤十字北海道大会を契機に、今一度赤十字の
目的と精神について考えてみるのも意義のあることではないでしょうか。

10.1 '83

第三回 定例市議会

深いきずなで手をむすび

姉妹都市白石市

第三回定例市議会は九月二十二日から開催されました。今議会に提出された案件は、報告六件と一般会計の補正予算、白石市との姉妹都市提携など議案十七件で、いずれも承認または可決されました。

次に議会の主な内容についてお知らせします。

観光キャンペーンで温泉の活性化を

昭和三十七年度一般会計決算と各特別会計決算の認定は、決算審査特別委員会を設置して、閉会中の継続審議とすることになりました。

昭和三十八年度一般会計補正予算は、補正額一億八千三百七十一万一千円を追加するもので、歳入歳出総額はそれぞれ百二十二億七千三百七十四万六千円となりました。主な内容は次のとおりです。

昭和三十七年度一般会計決算と各特別会計決算の認定は、決算審査特別委員会を設置して、閉会中の継続審議とすることになりました。

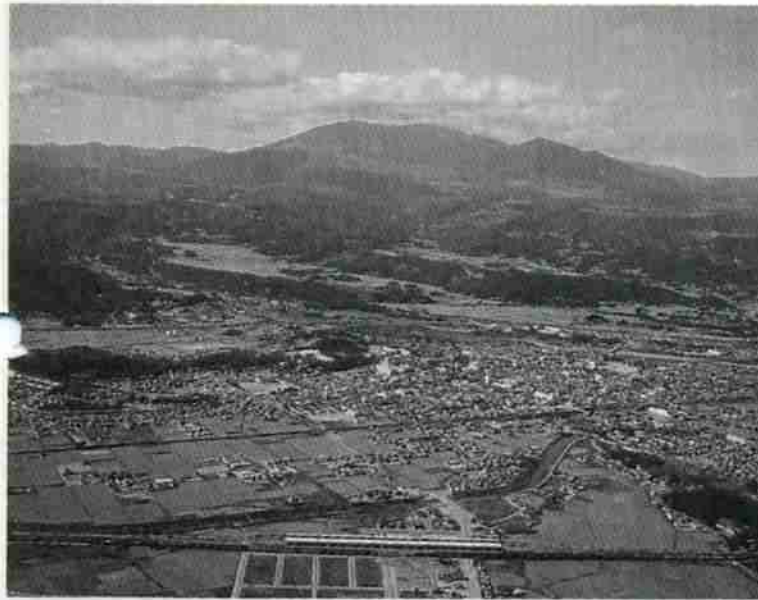
昭和三十八年度一般会計補正予算は、補正額一億八千三百七十一万一千円を追加するもので、歳入歳出総額はそれぞれ百二十二億七千三百七十四万六千円となりました。

昭和三十九年度一般会計補正予算は、補正額一億八千三百七十一万一千円を追加するもので、歳入歳出総額はそれぞれ百二十二億七千三百七十四万六千円となりました。

昭和三十九年度一般会計補正予算は、補正額一億八千三百七十一万一千円を追加するもので、歳入歳出総額はそれぞれ百二十二億七千三百七十四万六千円となりました。

昭和三十九年度一般会計補正予算は、補正額一億八千三百七十一万一千円を追加するもので、歳入歳出総額はそれぞれ百二十二億七千三百七十四万六千円となりました。

- ▽昭和三十七年度一般会計決算と各特別会計決算の認定は、決算審査特別委員会を設置して、閉会中の継続審議とすることになりました。
- ▽昭和三十八年度一般会計補正予算は、補正額一億八千三百七十一万一千円を追加するもので、歳入歳出総額はそれぞれ百二十二億七千三百七十四万六千円となりました。
- ▽昭和三十九年度一般会計補正予算は、補正額一億八千三百七十一万一千円を追加するもので、歳入歳出総額はそれぞれ百二十二億七千三百七十四万六千円となりました。



白石市街

期が満了になりました。後任として中山隆二郎氏を任命することに同意されました。

期が満了になりました。後任として中山隆二郎氏を任命することに同意されました。

期が満了になりました。後任として中山隆二郎氏を任命することに同意されました。

期が満了になりました。後任として中山隆二郎氏を任命することに同意されました。

教育委員会委員に 中山隆二郎氏

内藤秀吉委員は九月三十日にて任

期が満了になりました。後任として中山隆二郎氏を任命することに同意されました。

期が満了になりました。後任として中山隆二郎氏を任命することに同意されました。

期が満了になりました。後任として中山隆二郎氏を任命することに同意されました。

期が満了になりました。後任として中山隆二郎氏を任命することに同意されました。

雄大な蔵王連峰を擁する街 白石市

片倉景綱の城下町で歴史的にも重要な街として知られています。

白石市とのゆかり

白石市は、相互に産業経済、教育文化、福祉の交流と親善を深め、両市民の福祉増進と市政発展を図ることを目的として、姉妹都市の盟約を締結することになったものです。

白石市は、相互に産業経済、教育文化、福祉の交流と親善を深め、両市民の福祉増進と市政発展を図ることを目的として、姉妹都市の盟約を締結することになったものです。

白石市は、相互に産業経済、教育文化、福祉の交流と親善を深め、両市民の福祉増進と市政発展を図ることを目的として、姉妹都市の盟約を締結することになったものです。

登別市・白石市の概況

	登別市	白石市
面積	213.60km ²	285.94km ²
人口	59,225人 (19,018世帯)	42,316人 (11,328世帯)
議員定数	30人	26人
職員定数	630人	446人
予算規模	昭和58年度 一般会計予算 12,090,035千円 特別会計予算 5,772,951千円 合計 17,862,986千円	昭和58年度 一般会計予算 7,163,418千円 特別会計予算 3,624,234千円 合計 10,787,652千円
市制施行	昭和45年8月1日	昭和29年4月1日
市民憲章	昭和45年8月1日制定	昭和29年4月1日制定
市の花	ツツジ	ヤマブキ
市の木	クサギ	ササ
市の鳥	ツバメ	ウグイス
観光地	登別温泉、地獄谷、アツク湖、大湯沼、カルルス温泉、スキー場、オホフレンド	温泉、地獄谷、小樽、長老湖
名産	わかさぎこいも、柿まんじゅう、木彫製品	二ヶし、うーめん、和紙
産業	観光、水産、工業	農業、精糖、清酒、観光

宮城県西南端に位置し、東北の霊峰蔵王山の東南麓にある白石盆地の中心を占め、白石川の清流と美しい風土に恵まれた街です。

その歴史は古く、伊達家の重臣

期が満了になりました。後任として中山隆二郎氏を任命することに同意されました。



緑陽中学校屋内運動場

図られています。白石市の恵まれた自然は、そのまま観光の面でも大きな役割を果たしています。

これから

交流は

これから

交流は



シリーズ

水道と私たちの暮らし

①

わが国は、水に恵まれた国といわれています。私たちは、この恵になれて、水の貴重さについての認識が欠ける傾向にあるのではないのでしょうか。

自然環境に恵まれている当市は、幌別川を中心に大小多くの川が街の中を流れています。しかし、これらの河川には、さまざまな規制があつて簡単に水を利用することができません。

このような中で、将来の水源の確保が必要なこと、あるいは多額の費用をかけて家庭に水を送り届けていることなど、市の水道事業の現状をご理解していただくため、今号から三回にわたって、シリーズで「くらしと水道」についてお知らせします。

水道事業のあゆみ

市の水道事業は、昭和二十五年に登別地区で村営の簡易水道事業が始まり、翌二十六年には幌別地

区で新日鉄から分水を受けて旧富士鉄住宅に給水が行われました。登別地区には昭和二十九年、室蘭市から分水を受けて給水を開始し、登別温泉地区は、民間で行っていた簡易水道を昭和三十三年から市に移して給水しています。

このように当市の上水道は、昭和二十六年に事業が開始されましたが、水道事業としての歴史は浅いといえるでしょう。

給水人口は、都市化が進むとともに著しく増加し、昭和五十五年頃から水不足が生じるようになり、年末などでは、高台地区を中心に断水が発生し、給水施設能力の拡張整備が必要となってきたのです。

そこで、昭和五十五年から二カ年事業で登別上水道第一期拡張事業を行い、配水能力を倍増させるとともに給水区域を拡大しました。さらに、配水管網を整備して、上水道系統を一本化することによって長年の水不足を解消することができたのです。

上水道の水源

河川の水を水田や養魚池、水道などに利用する場合は、国から使用量に対して水利権の許可が必要となります。

市内の河川には、水利権として総日量約四十万六千トンあります。この内、市の上水道の水源として確保されている水量は、わずかに八、五パーセントの三万四千四百七十七トンです。

なお、室蘭市の生活用水や工業用水のほとんどは、古くから登別市内の河川から取水しています。水は、昔のように無限に利用できる時代から限られたものへと変

悩みや苦情はまず相談

秋の行政相談週間 10月16日～22日



行政相談委員
長内 弘氏(おさないひろむ)
中央町4丁目1番地5 (電話 5-2572)
《相談は無料で簡単です》
口頭、電話、手紙で行政相談委員にお申し出ください。

明日のより良い社会のために

行政は、私たちの毎日の生活といろいろな分野で密接にかかわっています。道路や公園、駅など公共の場での安全の問題、公共交通機関に対する苦情、騒音や悪臭など環境の問題……。

行政相談の重要性

制度が発足したのは昭和三十年今では、私たちの生活に欠かせないものとなっています。ことに最近のように社会構造が複雑になると、さまざまな問題が新たに生まれ、その解決を「行政相談」に求める例が増えています。これからも、行政相談の果たす役割の重要性は、ますます高まっていくといえるでしょう。

こうした「行政相談」の活動内容を、一人でも多くの方に知っていただき、役立ててもらうため、春と秋の二回に「行政相談週間」が設けられています。

必要となる新しい水源を近くに見つけることがむずかしくなり、多額の費用を投じて、遠くはなれた山奥に水を求め、確保しなければならぬ時代になったのです。

区分	水利権水量	協定による水量	取水可能水量	備 考
ライバル川	4,000㎥	—	4,000㎥	新日鉄と共同取水
アスリサンベツ川	4,147	—	4,147	
分水契約	20,000	20,000	20,000	室蘭市との分水契約・水利協定(登別川)
水利協定	6,000	6,000	6,000	新日鉄との水利協定(ライバル川)
計	8,147	26,000	34,147	



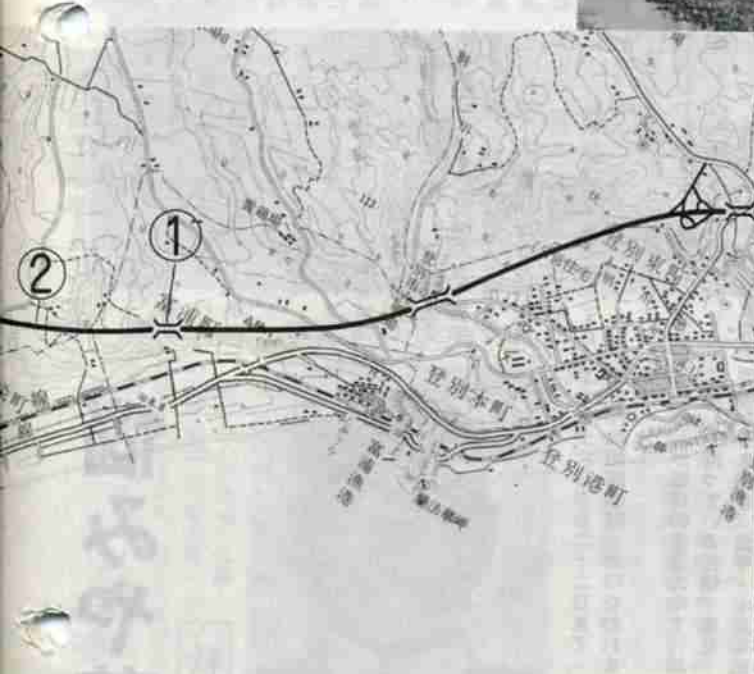
道路建設工事

に白老インターの開通が予定され、さらに登別
昭和60年度の開通にむけて工事が進められてい
によって、交通の混雑が緩和され、交通事故の
資源の開発など、産業・経済や社会の発展に与
大きく、1日も早い完成が期待されます。



幌別ダム下架橋工事

室蘭東インターチェンジ（仮称）料金所工事現場（緑町）



〈登別漁港修築事業〉現在、第7次漁港整備計画（昭和57年度～昭和62年度）により、本年度は、190%の消波岸壁工事やしゅんせつ工事に3億8千2百30万円を投じて工事が行われています。

（道々上登別室蘭線新登別大橋新設工事）総工事費約二十六億円、本年度工事費約三億八千五百万円、工事着工は昭和五十四年度から昭和六十一年度完成予定となっています。延長二十四㌔の大橋は市内の観光名所ともなることでしょう。



着々と進んでいます

北海道事業



富浦川架橋工事
札内地区土工事完了区間

②



国と北海道の主な事業

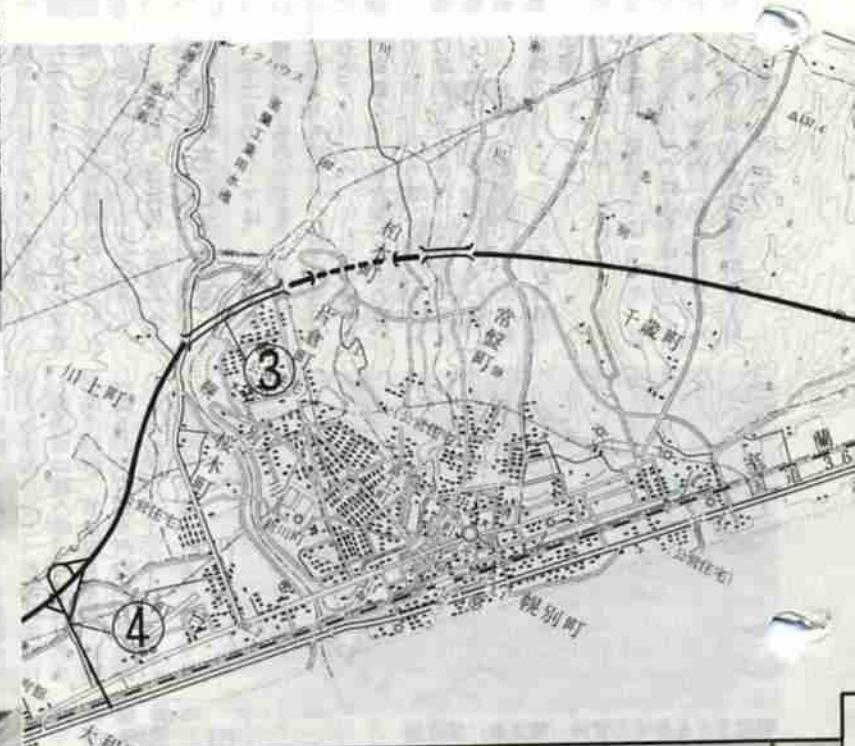
急ピッチで進む高速

市では、「長期的視野にたった都市基盤づくり」を推進していますが、今号では、国の道縦貫自動車道建設工事の進捗状況と、北海道が市内で進めている主な工事を写真でお知らせします。

日本道路公団で進めている道縦貫自動車道の登別工事区内では、昭和61年度の開通を目指し、全延長14.4kmのうち8カ所で約121億5千万円を投入して急ピッチで工事が行わ

れていま
今年11
インター
ます。

この完
減少や観
える影響



〔中央通り街路事業（道々上登別室蘭線）〕総工事費三十億六千万円、本年度は、工事費二億三千百万円をかけ、幅員二十五メートルの道路を造成しています。事業の完了は、昭和六十二年の予定となっています。（美園町）



ふれあい 広場

今月のテーマ

ペットとのつきあい



生命の尊さを知る。生き物に対する思いやりの気持ちが生かされる。犬や猫など動物とつき合うことで、わたしたちの情操は豊かになっていきます。

とくに子供にとっては、動物とのつき合いを通じて誕生、成長、死という生命現象を目のあたりにすることができ、貴重な情操教育のひとつとなります。

そこで今回は、ペットとのつきあいについてのご意見をみなさんから寄せいただきました。

カナリアと息子

息子がカナリアを欲しいと言いだしたのは、今年の春頃でした。話では、友人が飼っているからとのことでした。主人も私も結局は、息子がカナリアに飽きてしまい、その世話私たちにまわって

くると思い最初は反対しました。しかし、カナリアの世話は絶対に見るといふ息子に私たちは、ついに折れてしまい、赤いカナリアを飼ってしまふはめになりました。

私の予想では、カナリアの主人は一週間後に野球なんか夢中になつてしまい、ついにはカナリアのことなんて見向きもしないでテレビを見ています。なんて思いましたが、息子は私の予想に反してカナリアの世話を一日も欠かさずに行い、とうとう手にのるまでに慣れさせてしまいました。

ハト事件に一言

先頃、札幌の大通り公園で心ない親子がハトをエサで引き寄せ、捕まえていじめるという記事が、新聞紙上に取り上げられていました。

このことに関する反響は大きいようで、その後も紙上に取り上げられていきましたが、私もこの事に関して、背筋が寒くなる思いがしました。

子供は、社会の一員となるために親から教育を受け、最低限、生命の大切さを覚えていきます。しかし、この親子の場合には、それが完全に失われ、子供は非常に不幸な境遇にあります。

キンギョー、エー

「キンギョー、エー、キンギョー」の昔なつかしい呼び声も、もう聞かれなくなりましたが、この年になって急に金魚が恋しくなり、刈田神社の縁日で金魚すくいなどをしてきました。

金魚の祖先は、フナが突然変異したものといわれ、千年以上前から中国で飼育されていたとされています。

私は、縁日ですくってきた五匹ほどの金魚を水槽に入れ、昔から夏の暑い日などに涼を与えてくれる金魚のかわいらしさをガラス越しにながめ、新ためてペットとのつきあいを感じた次第です。

(中央町・会社員・高橋一也)

お待ちしています

十二月のテーマは、「我が家自慢のつけもの」です。

秋の日も深まり、軒下に吊らされたダイコンやつけもの樽を洗う風景などに目を奪われるのも、もう間近となりました。これから季節、みなさんのご家庭では何をおつけになりますか。

かすづけ、ぬかづけなど我が家自慢のつけもののお話をお気軽に聞かせてください。

▽締切日 11月10日まで
▽連絡先 電話またはハガキ、封書で市役所公聴広報課へ。(E)
⑤2111内線222 千05
9103 登別市中央町6丁目11番地)

郷土史探訪

開拓初期の富浦町を訪ねて

84 富浦町II

富浦町・江戸時代からの地名ラッポツケの町は、海へ突き出た東側の岬から北西部にかけて屏風のようになり立つ段丘に取り囲まれた中にあるので、北西の風当りも少なく暖い静かな町です。

岬の高い丘はリフルカと呼ばれる広々とした美しい台地で、遠く駒ヶ岳や恵山の連峰、室蘭のイタシキ、トツカリシヨの岬が見えます。また、海に突き出た鷲別岬、トンケシ・ホロベツの弓形を描いた海岸線・カムイヌブリを頂点とした海岸段丘など、松浦武四郎は「静岡県の薩た峠からみた有名な三保の松原・清見瀨、そして高峰(富士山)を見るが如し」と激賞しています。

江戸時代の富浦町・ランポツケは、前号紹介の野作東日記のほかに、松浦武四郎の東蝦夷地誌・廻浦日記、長沢誠至の東蝦夷地海岸図台帳、玉虫左右の入北記などの記録にあります。当時は、ロシアの南下策を中心とした諸外国の対応がムラン南部陣屋・白老仙台陣屋の構築となり、富浦町が交通の要路であったことから記録も多いものと思われま。

蝦夷が北海道となり、富浦町周辺の集約的な開拓が行われるのは、片倉家旧臣・遠藤震三郎ら四戸十人一人が入植したのに始まるといわれていますが、明治五・六年頃作成の蘭法華・登別屋敷図をみると、蘭法華戸数七戸、齊藤吉蔵を第一番屋敷として北原三郎・小野寺万吉・佐川寿治ら七番屋敷までの名前も見られます。



明治5・6年頃の富浦(蘭法華)屋敷図

遠藤震三郎は、戸長役場時代の明治七・八年に幌別郡副総代、明治八年から十一年までは幌別郡総代を務め、また遠藤源七郎は副総代として遠藤家が登別の開拓に費した功は大きく、札幌や他の地に転居した大勢の人々の中で数少ない片倉家旧臣として今日もご子孫のかたがたが残られています。

移住者の変動の中で、明治十六年から二十年にかけて四国讃岐国(香川県)から、山下茂市、近井悦次ら十数戸の同郷人が移住し、

明治十七年には、富浦の漁業が豊かであったことから松浦寿太郎は井上寅吉、吉原新七など同郷の人を呼びました。富浦の本格的な開拓は、この期を中心に行われます。

現在、富浦町一丁目に住む松浦治太郎氏は、明治三十五年、富浦生れで八十二歳、昭和八年から十六年まで二期村議を務め、先代寿太郎氏の跡を継がれて今日もなおお元気で過ごされています。昔の生活のお話をしてくれました。

「富浦の浜は、北海道炭鉄道(現室蘭本線)が出来る前は、砂原が広く、海岸の利用にも便利であったし、とにかく魚の豊富な所で磯の物はもちろん、タカノハ、マガレ、オヒヨウ、イカ、イワシ、サバなどは、いつも大漁でカツオやカジキマグロもよく獲れた。秋イカの時期に提灯をもって浜へ行くと、燈火に誘われたイカが岸辺にあるのでつかまえると、キユツ、キユツとなき腹をふくらませる。荒海の後はホツキ貝が岸にあがるし、冬の毛ガニも同様で、いわしの群まで岸にあがる。

とにかく大漁でたくさん獲れた魚も、今日のような運送が出来ないので売りがいい。筈で干し、魚粕にするのが最も良く、値段も良かった。

人手が足りないもので、岩内方面のニシン漁が終わると六月頃から岩内の人々が富浦にやってくる。丁度、鱈漁の始まる頃で、出稼人が来ると浜は一層賑わい、吉原、香川、松川さんなどの料理屋も繁生し、芝居も行われた。

昔の情景に想いを馳せると治太郎翁の話は尽きることを知りません。

登別市郷土文化研究会
宮武 紳一記

第十回豊別市社会福祉大会

柳澤慎一氏の講演と映画

今年には国際障害者年の三年目を迎へ、さらに障害者福祉（ノーマライゼーション）の考え方を定着させるには、みなさんの深い理解と認識が最も必要です。

この大会は、福祉に関係する人たちだけではなく、幅広いみなさんの参加を得て、障害のある人に対する正しい理解と協力について

普及・啓発をはかろうとするものです。

大会では、柳澤慎一氏による講演や障害をもつ若者の成長を記録した映画を予定しています。どなたでも参加できますので、おさそい合せのうえご来場ください。

▽日時 10月14日（金）午後1時30分～4時30分まで。



会場 市民会館
 ▽講演 演題「思いやりについて」
 講師・柳澤慎一氏（俳優・歌手・ナイスハート基金創立者）
 ▽映画 「翔ぼう いま」

公民館講座

つげもの教室を 開催します

市教育委員会では、「つげもの教室」を次のとおり開催します。
 お気軽にご参加ください。

▽日時 10月15日（土）午後1時～4時まで

▽場所 市民会館

▽定員 100名

▽受講料 無料

▽受講内容
 ○野菜の取り扱い（干し加減など）
 ○短い日数で食べられる「つげもの」の実演をかねた講座が開かれます。

▽申込・問合せ 市社会教育課
 （TEL 1100）

生活情報がいっぱい

第八回みんなの消費生活展

市では、各団体と協力し、消費者の保護と利益の擁護、増進をねらいにパネル展や実演などを行います。ご近所お誘いあわせのうえ

多数ご来場ください。

○日時 10月25日～27日まで／午前10時～午後3時

○場所 労働福祉センター

○展示内容
 ▽衣・住コーナー（合成洗剤の展示。赤ちゃん用品の展示など）
 ▽食コーナー（食品添加物の展示。みそ汁の塩分測定など）
 ○その他 省資源・省エネルギーコーナー、子供コーナー、実験コーナーなど。

ボーイスカウト 隊員募集

日本ボーイスカウト豊別第一団では、新入団員を募集します。

ボーイスカウトは、野外活動を通して青少年の健全育成を目的とする団体です。募集隊、入隊資格は、次のとおりですのでご応募ください。

▽カブスカウト：小学校2年生から4年生までの男子
 ▽ボーイスカウト：小学校5年生以上の男子

入隊希望のかたは、10月16日に次の場所で開催を行います。

▽市民会館／午後1時30分～4時

やさしさを隣人に— 赤い羽根共同募金

みんなそろってしあわせにと、あたたかな心を持ちよる国民たすけあいの姿—それが共同募金運動です。

今年も赤い羽根共同募金運動が10月1日から12月31日まで、3カ月間行われます。

赤い羽根は、あなたの善意のシンボルです。一人ひとりの善意が集まって、大きな輪になるよう、あなたのあたたかい思いやりをお寄せください。



10月1日から共同募金運動が始まります

電気の子メーター 有効期限は七年

貸ビルやアパートなどで、電気料金を配分するための子メーターは、検定に合格したものを使用してください。検定を受けていないもの、検定を受けたものでも有効期限が切れているものは使用を禁止されています。

メーターの有効期限は七年間

終戦当時の 引揚者のかたへ

税関では、終戦当時にお預かりした次の通貨、証券などをお返ししています。

返還の申し出は、本人ばかりでなく、ご家族のかたでも結構です。お心あたりのかたは、上陸地を所轄する税関、または室蘭税関支署（TEL 0143-2217201）へお問い合わせください。

●終戦後、外地から引揚げてこられたかたが、上陸地の税関、海運局に預けられた通貨、証券など。

●外地の集結地で総領事館などに預けられた証券などのうち日本

10月11日から 開局します

若草町・新生町地域にお住まいのかたの生活利便を図る登別若草郵便局（若草町3-6-1）が十月十一日から開局します。

取扱業務は、郵便・郵便為替・郵便貯金や簡易生命保険・郵便年金など窓口業務全般と電報の受け付けを行いますのでご利用ください。

道刊行物コーナーを ご利用ください

胆振支庁の道刊行物閲覧コーナーには、多くの道民のかたがたに道の財政状況、道議会の内容などについて、より知っていただくために、各種刊行物をとりそろえていますので、ご利用ください。

▽閲覧できる主な刊行物
 北海道議会会議録、経済白書、北海道財政状況など。

※詳しくは、胆振支庁地方部総務課（TEL 0143-229131内線215）にお問い合わせください。

新着図書案内 市立図書館 54324



私は人間が好き（今井美沙子）
 統昭和史のおんな（澤地久枝）
 シェイクスピアへの旅（小田島雄志）人生はガトゴト列車に乗って（井上マス）生と死を支える（柏木哲夫）屋根の上のセロ弾き（糸川英夫）永田町おもしろ情報（柿沢こうじ）暮らしを豊かに（山本順子）さっぽろ雑学ノート（武井時紀）音楽への旅（森本哲郎）仲間づくり近所づき合い（藤原厚子）霞が関が震えた日（塩田通）言語森寛（簡井康隆）水なき雲（三浦綾子）白百合の崖（津村節子）沖繩八十四日の戦い（柳原昭二）ダウン症の子をもって（正村公宏）カオールの酒壺（木村尚三郎）梅安乱れ雲（池波正太郎）司法の犯罪（伊佐千尋）ワルシャワ猫物語（工藤久代）いつも同じ春（辻井喬）きのこ学騒動記（四手井淑子）日本の貧困（柴野徹夫）ぼくのワイルドライフ（C・ニコル）依藤子の教育委員長日記（依藤子）私の半自叙伝（蘆原英了）眼とこころ（桑原安治）中国行きのスロウ・ボート（村上春樹）伊達火力発電所反対闘争（斎藤稔）母乳（山本高治郎）

覚せい剤を追放しよう

白い粉——暴力団の資金源となっている覚せい剤は、悪質・巧妙な手口によって、最近では一般市民層、なかでも青少年や主婦にまで広がっており、その被害は、家庭、職場にまで及んでいます。そして、覚せい剤中毒者による凶悪

な犯罪や事故が後を断ちません。覚せい剤の恐ろしさを認識し、犠牲者を出さないようみんなが注意して覚せい剤を追放しましょう。▶覚せい剤に関する通報・相談は、最寄りの警察署、または市保健衛生課へ。(TEL) 2111内線248)



市民啓蒙

ふれあう心の合言葉

一、親切をつくしきまりを守って、明るく住みよいまちをつくりましょう。

(2歳児歯科検診日程)

実施月日	会場	対象地区
10月19日	労働福祉センター	横別、中央、富盛、富士、千才、札内、新栄、東馬、幸
20日	繁別公民館	若草、新生、栄、富厚、大和、若山3・4丁目
21日	労働福祉センター	栢木、片倉、新川、桜木、証山、川上、青葉、緑、若山1・2丁目
24日	繁別公民館	繁別、美園、上繁別
25日	婦人センター	登別温泉、中登別、登別東、登別水、登別港、高浦、カールス、上登別

2歳児歯科検診

歯科医師、歯科衛生士、保健婦による2歳児歯科検診を次の日程で行います。

▽内容 講話、歯科検診、歯磨き指導、フッ素塗布の予約

中小企業振興条例の助成を

受けられる企業者のかたへ

市では、中小企業の近代化を推進し、健全な発展を図る目的で中小企業振興条例を制定しています。この条例の助成事業のうち、高度化事業、商店街環境整備事業を昭和59年度中に計画されている中小企業者、中小企業団体は、今年10月31日までに市に事業計画書を提出してください。

事業計画書が提出されませんと、明年度の助成を受けることができません。

中小企業退職金共済制度は、退職金制度を自前でもつことが困難な中小企業に、国の援助で、いざというときには退職した従業員へ退職金が支払われるようにするものです。

退職金づくりは国の制度で

この制度には、次のような特色があります。

- 月々少額の掛金で、企業の実態にあった退職金づくりが出来ます。
- 国の制度ですので、安全・確実です。
- 掛金は全額経費扱いになります。
- 退職金に国庫補助金がつきます。
- 過去の勤務期間も通算できます。
- 毎月の掛金が口座振替で納付できます。

※詳しくは、労政課へお問い合わせください。(TEL) 2111内線263)

児童・母子相談

子どもの非行や登校拒否、しつけ、自閉症、養護、こどもの障害、児童施設入所などでお困りのかたは、お気軽にご相談ください。

▽相談日/場所
 ○毎日午前9時～午後3時(土曜、日曜、祝日を除く) / 市役所

不用品ダイヤル市



②111 内線257

おわけします(売り)

二段ベッド、ばかぬりテーブル、ベビーバス、メリーゴーランド、ステレオ、冷蔵庫、こたつ、電気温水器、テレビ(白黒、カラー)、圧力なべ、扇風機、洗たく機、ウォークマン、自転車(三輪車、小学生男用、幼児用)、電気ギター、アンプ(電気ギター用)、温風式石油ストーブ、夏タイヤ、オートバイ(50cc)、編機、大学入試用参考書、こぶのおきもの、英会話カセットテープ(14巻)

ゆずってください(買い)

シングルベッド、ベビーベッド、ベビータンス、双子用ベビーカー、ラジカセ、レコードプレイヤー、自転車(婦人用) 電気オルガン、ストーブガード、オートバイ(50cc婦人用)、石油風呂釜、電動モシン、ワイド図鑑(小学生用)、カメラ、ゼンマイ式時計、陶芸用ろくろ、ホームタンク(90ℓ室内用)、英語カセットテープ(イングリッシュジャーナル誌)

里親制度をご存知ですか

子どもが成長するうえで必要なも

里親とは、児童福祉法に基づき、児童が成長するうえで必要なものを、その親の大きな愛ではないでしょうか。

しかし、不幸にも親のなんらかの事情で一緒に生活できない子どもたちがいます。そこで児童福祉法では、親が引き取れるようになるまでの間、養育してもらおう家庭の制度(里親)を設けています。家庭に恵まれない子供のために皆さんの暖かいご協力をお待ちしています。

※詳しくは、市役所市民相談室(TEL) 2111内線212) または、室蘭児童相談所(TEL) 0143-44-2949)へお問い合わせください。

10月11日～20日は「全国防犯運動」です

行楽の秋を迎えて、家族そろって出かける機会も多くなります。戸締まりは大丈夫ですか。もう一度確認を。



お題は「緑」 昭和五十九年 歌会 始め

昭和五十九年の初春を飾る宮中行事、歌会始めのお題が「緑」と定められました。

▽詠進歌の詠進要領

- (一) 詠進歌は、自作の歌で一人一首とし、未発表のものに限りです。
- (二) 用紙は半紙とし、毛筆で自書してください。
- (三) 病気または身体障害のため毛筆で自書することが出来ない場合は、代筆でも差し支えありませんが、その理由書を添えてください。

なお、盲人のかたは、点字でも結構です。

▽詠進の期限 消印が10月11日までのものが有効です。

▽送付先 〒1100 東京都千代田区千代田一番一宮内庁)とし、封筒に「詠進歌」と書き添える。

※書式など、詳しいことは市社会教育課へお問い合わせください。(TEL) 1100)

訂正

9月15日号の粗大ごみ回収のお知らせの中で、次のとおり誤りがありますのでお詫びして訂正いたします。

●「回収しないもの」○引越によって出たごみ」の文中、「清掃工場へ搬入したものと」になっているのは、「市の最終処分場(千歳町)」です。

なお、時間は平日・9時15分から4時30分まで、土曜・9時15分から11時30分まで、日曜、祭日は休みとなります。